

テーマ “労働時間の適正な把握などのガイドラインの活用”

2016年と2017年に厚労省から労働者にとって重要なガイドラインが出されています。2016年2月には、「治療と職業生活の両立のためのガイドライン」、2017年1月には「労働時間の適正な把握のためのガイドライン」です。これらのガイドラインを活用し、職場に定着させる取り組みは重要です。社会医学研究センターでは、この意義を確認し、活用するために下記の通り「安全衛生フォーラム」を行いますのでご参加下さい。

基調報告 「労働安全衛生法とガイドラインの活用」
社医研センター 村上剛志

解説① 「労働時間の適正な把握のために使用者が
講ずべき措置に関するガイドライン」
社医研センター 佐々木昭三

解説② 「学校における労働時間把握の取り組み」
産業カウンセラー 杉本正男

解説③ 「事業場における治療と職業生活の両立のための
ガイドライン」
社医研センター 村上剛志

活動報告・交流 日航患者会・化学一般・全川崎地域労連・埼教組 など

記

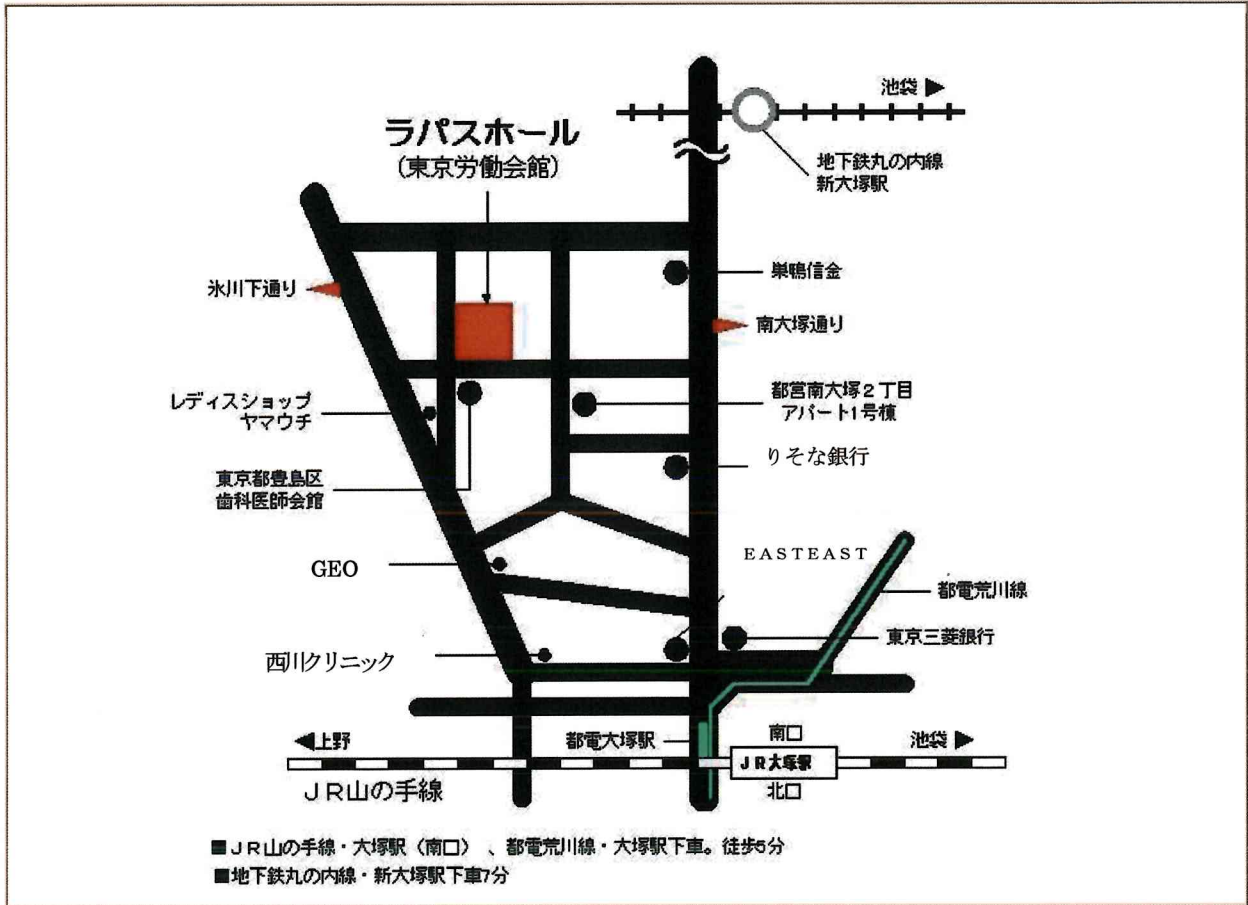
1. 日時 3月10日（土）午後1時～5時
2. 場所 東京、豊島区、ラパスホール7F（地図・裏面）
3. 参加費 2,000円
参加者に「労働と医学」No.134
「ILOのディーセントワーキングタイム」を贈呈
4. 申込み締切り 2018年3月5日
裏面の申込み用紙に記入の上、
FAX 03（5926）7091でお申込下さい。

お問合せ・担当 社会医学研究センター
村上剛志
佐々木昭三

TEL 03（5926）7090

2018年3月10日

「安全衛生フォーラム」 会場案内図



* 参加ご希望の方はお手数ですが、下記のFAXにてご連絡お願い申し上げます。（先着順です）

きりとり線

2018年 3月 10日（土）
社会医学研究センター
「安全衛生フォーラム」労働時間の適正な把握などのガイドラインの活用

参加申込書

住所		所属団体	
氏名		連絡先 TEL	
氏名		連絡先 TEL	

FAX 03-5926-7091